



みなと荘新聞

平成31年3月 第96号

今月の予定

《 3月16日 ~ 4月15日まで 》

3月	4月
20日..鍋パーティー	4日.. みなとランチ
23日..演奏会	8日.. 華道
	13日.. 誕生祝い喫茶

デイケア

『通所リハビリテーション』



春の訪れを感じられる3月。春と言うと花をイメージしませんか？
 デイケアでも花で春を見つけることができます。
 運転手の鈴木利二さんの梅の写真。今回も素敵なアングルで散々撮って下さいました。
 ホール内にある塗り絵。利用者さん達が思い思いの色できれいに塗って下さっています。
 外の置いてあったハイビスカスも暖かな日ざしたっぷりの場所に移動し、つぼみをつけました。「もうすぐ咲くかな？」と、毎回来る度に様子を見て下さる利用者さんもいて、心が温まります。
 花は私たちを笑顔にさせてくれますね。

3月20日 鍋パーティー(きりたんぽ鍋)

この日の天候は、鍋料理を食べるには、ちょっと残念な程にポカポカ陽気となりました。ガスコンロに載せられた鍋の中から立ち上る陽気が食欲をそそり、豆腐やゴボウ、キリたんぽなどの具材の上を覆う緑色のセリの何とも言えない臭いが更に空腹を呼びさします。
 職員が取り分けた皿やドングリの中はあっという間に空っぽとなり、席のあちこちから「おかわりちょうだい」の音が響きます。御利用者全員が満足の笑顔。鍋の中の具材もなくなり、味のしみ込んだスープに御飯を入れ、玉子でとじてしめのおじや。身も心も温まり、本格的に春の訪れを実感した一日でした。



編集後記

平成30年度最後の「みなと荘新聞」の発刊となりました。一年間、大変お世話になりました。そして、記事の内容や写真に物足りなさを感じた御利用者、職員も多いと思います。紙面を借りましておわび申し上げます。
 先日、25日、宇都宮市の新川沿いの桜が開花し、露店が立ち並び始めていました。日本列島南から続々と桜の開花宣言が押し寄せるでしょう。皆さんがこの新聞を読む頃には獨協医科大学やしもつけ荘の桜が満開となっているかもしれません。三寒四温の天候に負けず、みなさん、お身体を大切にしてお花見を楽しんで下さい。
 最後になりましたが、紙面上でデイケアのきめ細やかな情報を伝えてくれた鈴木美保さん、一年間大変お疲れさまでした。また、元広報マンとしコンピュータを駆使して魅力ある紙面作りを一から教えてくれた濱田惇弘さんには心から感謝いたします。新年度からもまた、「みなと荘新聞」をよろしく願います。

行事の様子

3月3日 ひな祭りランチ

A館とB館をつなぐ通路には、毎年恒例のひな壇がお目見えし、淡いピンク色の花をつけた桃の木が飾られ、三月三日の節句ムード一色です。
 お内裏様やその他のひな人形に目を細める御利用者、特に女性の胸にはひな遊びをした少女時代の思い出がこみ上げているようでした。
 この日の昼食は、ちらし寿司やすまし汁、炊き合わせなど豪華なメニューが並び、この時だけは男性利用者も満面の笑み。
 楽しい食事の後は、おやつに甘酒とひなあられが振る舞われ、関東風の桜餅に舌鼓を打ちました。まさに「きょ〜うは楽しいひな祭り」の唄が聞こえてきそうです。

